

明治150年、

近代日本の発展を支えた地質



5月10日は
地質の日

5月10日を中心にイベント開催

▶ 各地域のイベント情報はここから
<https://www.gsj.jp/geologyday/>



地質の日の由来

5月10日は、明治9年(1876)、ライマンらによって日本で初めて広域的な地質図、200万分の1「日本蝦夷地質要略之図」が作成された日です。

また、明治11年(1878)のこの日は、地質の調査を扱う組織(内務省地理局地質課)が定められた日でもあります。

地質の日事業推進委員会事務局

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター

TEL : 029-861-3540 FAX : 029-856-4989

地質の日事業推進委員会：(一社)日本地質学会、(一社)日本応用地質学会、日本情報地質学会、日本古生物学会、資源地質学会、(国研)産総研地質調査総合センター、日本堆積学会、日本第四紀学会、(一社)日本鉱物科学会、日本科学未来館、(地独)道総研地質研究所、神奈川県立生命の星・地球博物館、(一社)全国地質調査業協会連合会、(NPO)地質情報整備・活用機構、(公社)東京地学協会、(独)国立科学博物館、全国科学博物館協議会、(NPO)日本ジオパークネットワーク(順不同:2018年3月現在)